

<報道発表資料>

(府 同 時)

令和 8 年 1 0 月 1 5 日

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

インフルエンザの定点当たり報告数が注意報レベルになりました

京都市内の感染症発生動向調査におけるインフルエンザの定点医療機関当たりの報告数が、令和 8 年 4 1 週（1 0 月 5 日～1 0 月 1 1 日）時点で、「1 1 . 4 7」となり、注意報レベルの基準値である「1 0」を超えました。

今後、流行の拡大が予想されます。感染拡大防止のため、こまめな手洗いやせきエチケットの実施等、感染対策を心掛けるとともに、予防接種の検討をお願いします。

【インフルエンザ定点医療機関当たりの報告数※¹の推移（令和 8 年）】

発生動向調査週	京都市	全国
第 37 週 (9/ 7 ～ 9/13)	4.39	5.54
第 38 週 (9/14 ～ 9/20)	6.70	8.48
第 39 週 (9/21 ～ 9/27)	5.09	7.17
第 40 週 (9/28 ～ 10/4)	8.91	11.35
第 41 週 (10/5 ～ 10/11)	11.47	16 日以降公表予定※ 2

※ 1 1 週間の患者報告総数を報告医療機関数（京都市では 3 4 医療機関（第 4 1 週時点））で除した数値であり、1 週間における 1 定点医療機関当たりの平均患者数を表す

※ 2 厚生労働省が毎週金曜日に公表予定。

（参考）インフルエンザの警報発令、注意報発令、流行期入りの目安

警報レベル		注意報レベル	流行期入り
開始基準値	終息基準値	基準値	目安
3 0	1 0	1 0	1

● 予防対策について

インフルエンザの予防には、市民の皆様一人ひとりの「かからない」、「うつさない」を意識した行動が重要です。

(1) 「かからない」ために

<基本的な感染対策を心がけましょう>

- ・外出後の手洗い等を励行しましょう。
- ・人混みや繁華街への外出を控え、場面に応じてマスクを着用しましょう。

- ・十分な休養と栄養をとり、体の抵抗力を高めましょう。
- ・加湿器等を利用し、部屋の湿度を50～60％に保ちましょう。
- ・室内ではこまめに換気をしましょう。

<インフルエンザワクチン接種について>

○京都市では65歳以上の方などを対象とする高齢者インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症定期予防接種を実施しています。

詳細は本市ホームページで御確認いただけます。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000331289.html>



(2)「うつさない」ために

- ・人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ・せきエチケット（他人に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやハンカチ等を使って、口や鼻をおさえること）を徹底しましょう。

(3) 発熱等の症状がでたときは

- ・受診を希望される方は、まずは身近な医療機関に相談しましょう。受診の際は必ず事前に電話連絡のうえ、医療機関の指示に従って受診してください。
- ・安静にして、休養をとるとともに、水分を十分に補給しましょう。

● 参考

【京都市における過去の流行状況（経年）※】

		流行期入り	注意報
R4/R5 シーズン	報告数	1.14	11.62
	報告週	第51週	第2週
	週初めの日	12月19日	1月9日
R5/R6 シーズン	報告数	3.41	12.64
	報告週	第36週	第42週
	週初めの日	9月4日	10月16日
R6/R7 シーズン	報告数	1.22	15.54
	報告週	第46週	第50週
	週初めの日	11月11日	12月9日
R7/R8 シーズン	報告数	2.00	12.03
	報告週	第36週	第44週
	週初めの日	9月1日	10月27日
R8/R9 シーズン	報告数	3.42	11.47
	報告週	第36週	第41週
	週初めの日	8月31日	10月5日

※ インフルエンザシーズンは、流行時期に合わせ、毎年第36週～翌年第35週を1年間とする。シーズン内で複数回基準を超えた場合は、最初（1回目）の週を記載している。

<お問合せ先>

・感染症対策について

京都市保健福祉局 医療衛生推進室医療衛生企画課 健康危機対策担当

電話：075-222-4244

・予防接種について

京都市保健福祉局 医療衛生推進室医療衛生企画課 予防接種担当

電話：075-222-4421